

田原町立田原福祉専門学校後援会機関紙

たつぷく だより

No. 4

編集発行 平成 13 年 3 月 1 日

田原町立田原福祉専門学校後援会
会長 川 澄 春 男



五年を回顧して



講師
竹本 與一

昔は十年をひとむかし、現代は三年をひとむかしと言われるほどに变革は早く、二十世紀も慌ただしく過ぎ去り、二十一世紀の新春を迎えました。

渡辺華山先生は「商人八訓」の中で、「開店の日を忘れるな」と教えられました。田原福祉専門学校も五年の節目を迎え、回顧するも意義あるものと思います。

高度経済成長も終息の兆しを感じられた十数年前、田原町に高等教育の学校が欲しいという世論を受けて、田原町高等教育懇談会(審議会)が組織されました。私も参与として審議に参画し、昭和六十一年に町長に答申いたしました。

平成七年二月、突然に田原町役場の渡辺さんが訪れ、田原町に専門学校を設置することになったと知らされた時はびっくり、また、小躍りし

て喜びました。

平成七年四月、開設準備事務局が設置され、用地買収整備・校舎・学生寮の建設、スタッフの選任の仕事が着々と進められました。

平成八年四月五日竣工式・開校式が盛大に挙行され、四月九日には第一期生の入学式、田原福祉専門学校はここに呱呱の声をあげました。関係の皆さんは、感慨無量であったと思います。

あれから五年、すでに二百四十余名の卒業生を送り出し、それぞれの職場で介護福祉のプロとして活躍され、良い評価を受けています。

人が人を援助する対人援助職、人に係わる専門職には、技術以上に「思いやり」の心が大切と言われる。

昔、中国の大思想家孔子は、弟子に、「人間として生涯守っていかねばならぬことを一言で言うとは何ですか。」と尋ねられ、それは「恕(シヨ)」と答えられました。「恕」とは、心の如しと書くが「してほしいことをしてあげ、してほしくないことは決してしない」という深い思いやりのことであると教えられました。

この「恕」をキーワードとして、介護福祉のプロとして頑張ってください。ご健闘をお祈りします。

専任教員紹介

田原町立田原福祉専門学校には、現在39名の教職員がいます。その中でも今回は、常勤で介護福祉教育を行っている教務課の専任教員をご紹介します。

教務課長 長谷川彰先生



担当科目
社会福祉概論
障害者福祉論
社会福祉援助技術
社会保障

出身地：千葉県 好きなことば：うまくやれよ 急ぐなよ
趣味：茶道、能、ロシア料理
コメント：これからが本番、強く細く生き抜いてください。人生の帳尻は最後まで生きてみないと分からないからね。



担当科目
実習指導
介護技術
形態別介護技術

三浦七重専任教員

出身地：熊本県。長い放浪の果てに田原に根をおろしました。
好きなことば：「七転び八起」
転んでばかりですが大怪我はしていません。

興味：お茶と読書。

コメント：近くの野山を歩くことが好きです。山菜狩もでき、健康と食欲を満たし一石二鳥です。山菜についてはプロ級だと自負しています。日々衰える気力と戦っています。名前を間違えても勘弁してくださいね。

廣田真子専任教員



担当科目
実習指導
介護技術
形態別介護技術

出身地：愛知県豊橋市 好きなことば：しあわせはいつもこころがきめる
趣味：温泉めぐり、パンづくり
コメント：人の役に立てることの嬉しさと感動。周囲の何気ない心配りに感謝する心。その二つを持ちつづけてほしいと願っています。そのためには、自分の心地よい居場所を持ち続けていきたいですね。

桑山和子専任教員



担当科目
形態別介護技術
介護技術

出身地：愛知県豊橋市

好

好きなことば：いい加減(何をしてもちようどほど良い加減が大切)

趣味：旅行(食べること、ポーとする) コメント：最近やつと学生みんなの表情を見ながら授業をすることができるようになりました。これからも精進してわかりやすい授業を目指していきたいと思っています。今年の目標は学内をウロウロすることです。

南端裕江専任教員



担当科目
介護概論
介護技術

出身地：北海道生。長野県に夫と箱入りニヤンコを残してただいま単身赴任中。
好きなことば：あきらめない心
趣味：音楽、映画、芸術鑑賞、ドライブ
コメント：同じ生きていくなら、様々なことにチャレンジし、楽しんでみよつと思いつく私達の一生。山あり、谷ありの私達の一生。これからも一つでも多くの事に挑戦し、人とふれあい学びあいの人生を送っていききたいものです。

阿部香子専任教員



担当科目
社会福祉援助技術
老人福祉論

出身地：北海道小樽市 好きなことば：tomorrow is another day
趣味：演劇鑑賞 コメント：昨年の4月にこちらに来たばかりの新人です。毎日が「学び」の連続で、日々是勉強です。まだまだの私ですが頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

「ご寄贈ありがとうございました。」

平成12年4月に田原パシフィッククロータークラブ様からグラランドピアノ1台150万円相当の寄贈がありました。

平成12年12月に東京都在住で田原町ご出身の日高進氏からビデオ機器など120万円のご寄贈がありました。
後援会からたつづく祭の助成の一つとしてテント一張を寄贈しました。



この人に聞く

平 二 七 二 七 六 木

湖西市

田村文夫さん

(第二期生)

現在は、どのようなお仕事をされていますか。

田村 今は、地元の湖西市でヘルパーをしています。毎日ではなく、月・水・金にデイサービスの仕事についています。自分を含めて三人ですが、男性は私一人です。

男性お一人で、お仕事がやりづらいというようにはありませんか。

田村 全くないと言ったら嘘になります。二人の方がバイタリテイーある方なので、男女の差別をあまり感じさせないように思います。

話は変わりますが、田原福祉専門学校での思い出などを伺いたい



静かに語る田村さん

と思います。まず、田原福祉の学生になると思ったきっかけをお聞かせください。

田村 私は、以前ヤマハ発動機で営業の仕事をしていたのですが、定年を迎える前に、妻が乳がんを患い、私が田原福祉に入学する二年前に亡くなりました。地域の方々に励ましをいただきながら、定年後は妻の看病と家事を両立させながら頑張っていました。私たちには子どもがら力は落としかけていました。が、このままではいけないと思い、ホームヘルパーの記事を見てから、地域とのかかわりを持つようになってきました。その後、三級、二級と資格を取り、ある日、掛かり付けの病院の看護婦さんから、田原福祉の情報を得て入学することになったのです。

色々とお苦労されたようですが、田村さんが田原福祉に入学された背景には、奥さまのことがかなり大きく存在していたんですね。

田村 妻が今もし健在だったら、今の自分はなかったと思います。



聞き手 戸田さん

二年間の学生生活を振り返って、思い出に残ったことなどをお聞かせください。

田村 記憶力や行動力が、現役の人たちと比べて、かなり低下している。人一倍頑張らなくてはなりません。ヘッドメーカーの実技試験では、なんと八回もかかってしまいました。一年生の後期の試験中にインフルエンザにかかり、テストが受けられず、追試を受けてようやくクリアしました。

いろいろありました。良いことも多くありました。若い人たちに接することができたので、若いエネルギーを吸収することができました。二年間一日も欠かさずお弁当を持参できたことは、自分自身に表彰状をあげたいくらい、自慢の一つになりました。

ほんとに、よく続けられたものと思いますよ。女性の私たちでもなかなか出来ないことなのに、頭が下がる思いです。

最後に今後の自分自身の在り方をお聞かせください。

田村 介護の仕事は、自分の性に合っている。これからも続けていきたいと思っています。

これからの福祉のあり方としては、お互いに隔たりのない関係で暮らせるような、グループホームが増えることを望んでいます。そして、自分の住む地域で、グループホームが出来たらよいと思います。

ありがとうございました。これからもお元気で活躍ください。また、お会いできる日を楽しみにしています。

終始にこやかに語る田村さんではあるが、一語一語に人生の確信のような強さを感じさせられた。決して負わず、しかし、常に前を向いて自分の道を張って歩いていられる田村さんに、私も背すじを伸ばされる思いであった。田原福祉の卒業生には、素晴らしい人がいるなあと、いうことを実感させられ、若い私の生き方を素直に反省させられてしまった。(インタビュー・文責 戸田純子)

きらら きらら 輝く学園生活

田原けんか凧まつり

五月

五月二十七日、二十八日に開催された「田原けんか凧まつり」に私達田福学生も町の皆さんと一緒に参加させていただきました。

田原凧は一般的な縦長の凧と違い、横長の形で凧と糸のつながりが二本です。そのため凧は空中で不安定ですが反面、操作がしやすく、ガラスの粉を付着させた凧糸をからめて互いに切りあうのが「けんか凧」です。私達は凧まつり一か月前に田原凧保存会の皆さんや各チームの皆



前夜祭の盛り上がり

さんにお願ひして参加させていただけることになりま



合戦を前にして

した。

二十七日は今年生まれた子どもための初凧祝と、田原凧が町の無形民俗文化財に指定された記念として凧保存会と田福学生が協力して作り上げた長さ約三・五メートルの大凧のお披露目、子凧づくり教室を行いました。

二十八日は、けんか凧合戦に、数人ずつチームに入れさせていただき、真剣勝負のけんか凧を間近で見つてふれることができました。スポーツ少年団けんか凧では田福単独チームが会場し、「田福」と書かれた凧は見事田んぼに落ち、かえるの餌食となりました。

また施設の方々にも多数来ていただき、ボランティア系の学生と一緒にまつりを盛り上げていただきました。

(二年 塚本恵子)

ヨットエイドジャパン

七月

七月二十三日(日)に蒲郡市内で行われた「ヨットエイドジャパン」が開催する交流ヨットレースの手伝いをさせていただきました。

前日の二十一日から駐車場を作り、ゴミ拾い等の会場準備を手伝わせていただきましたが、天気が思った以上に良く暑さとの戦いにもなりました。しかし参加してくださる障害者の方、ヨットマンの方が気持ちよく活動し、ヨットへ乗っていたようにと頑張りました。

当日は障害を持つ方の介助者として力不足ではありますが、一緒にヨ



さあ、乗船ですよ



いよいよ 出航

ットへ乗船させていただき、ヨットのだいご味を共に満喫し、それと同時に交流を深めることができました。障害者の方の参加が多く、積極的に乗船前と乗船後の顔つきが違って見えたのが印象的でした。ヨットの力、海の力の大きさを感じました。障害を持つ方が海へ出るといふことは勇気のいることだと思います。しかしより多くの方に参加していただき障害の有無に関係なく交流を深めていって頂きたいと思えます。そして私もその交流を深めるための手伝いをすると同時に、その輪に入りたいと思います。

(二年 鈴木百世)

田原まつり

九月

田原まつりを通して私達は、大きな感動を味わうことができました。ゼ口からのスタートということもあり、行く先に不安を感じ、戸惑い、投げ出しそうになった時もありましたが町内の方々、生徒、先生方の理解や協力のお陰で祭りに参加することができました。

祭りを運営していく上で、どうしたら皆が参加してくれるだろうか。どうしても楽しい祭りを作ることができののだろうか。毎日が試行錯誤の日々でした。新しい物を作り上げること、皆に理解して



もらうことの大変さを知ることができました。そして、あきらめないで最後までやりとげることの大切さを知りました。



祭りで色々な方と出会い、言葉では伝えられない町内の方々の心を知り、それに支えられ、私達は挑戦する勇気を学びました。現代では忘れられつつある、思いやりの心や優しさを私達はこの体験を通して感じることができました。色々苦労のあった田原祭りでした。

たつぷく祭(学園祭)

十月

第5回たつぷく祭も多く参加者と学生の協力により無事に終えることができました。

今年度の学園祭は、スローガンに「みんな おなじ 空のした」を掲げました。二日間しかない日程の中で、学校らしさをアピールできた良いと考えていました。そのためゲストは招かずに、すべ

たが、今となっては、やって良かったと思う心で一杯です。後輩の皆さんにも是非この気持ちを味わってもらいたいと思います。体験は何よりも勉強だとつくづく感じました。

(二年 知花愛美、藤原章枝)

ての学生が主役になるようにしました。泣いたり、笑ったりしながら成功させたいという期待と不安を感じる長い準備期間の中で、祭りを盛り上げていく難しさを学ぶことができました。しかし多くの学生の協力があり、みんなて祭りを



雨の中フィナーレ

作り上げていくことができました。

今年の祭りのオープニングは地域の保育園のみんなどのふれあいから始まりました。凧や神輿の大きかりな展示や、演劇、茶道、模擬店などを通して多くの方に楽しんでいただけました。祭りのフィナーレは、雨の中、学生が輪になり濡れながらみんなで踊ることができました。

今年のたつぷく祭がスムーズに動けたのも、実行委員のメンバーと多くの学生、そして、参加してくださいったみなさんの協力のおかげです。これからももっと楽しい学園祭になってほしいと思います。ぜひ10年後20年後のたつぷく祭も参加してください。本当にありがとうございました。

(二年 小池真子)



美女の模擬店

全国に散らばって活躍している卒業生の方々に便りをよせてもらいました。



三重
奥出岳生

現在、介護保険が導入され、措置制度時と比べて利用者さんへの処遇は、短期間で変わっていると違いますし、変わらなければならぬと思います。

しかし、色々な問題も見えます。施設介護の限界とは？と思う時があります。また、自分は男性であり、常に仕事を主に考え行動することが出来るために、家庭を持った女性のつらさを考える時があります。これは、介護の社会体制の課題だと思います。(少子化なども含め)

施設介護において、単純化していうと利用者さんへの介護対応と職員との動きの疲労は正比例します。またそれにおいて得た信頼関係や充実感も正比例することも多いと思います。自分の心の持ち方や余裕がなければ良い介護はできないと思います。また、他の職員の介護について真向うから反対することができません。その介護はその職員のスタイルなのです。自分のできないところをカバーしてくださる時もあるのです。

す。

一人で施設介護はできません。職員全体の力で働いている(できていない)施設介護なのです。他の職員の否定より、自分をしっかり持つことが必要だと思っています。しかし、口で言うほど、現実には簡単ではありません。

専門学校生時代は、遊べるころは多く、遊んでも良いと思います。社会の仕事として就いた時、壁にぶつかり、各々の得た知識や知恵がらばっていつてほしいと思います。これは卒業生として後輩へのメッセージです。

悩める介護職員です。(自分も他の人もきつとそうです。)(第一期生)



横浜
吉野徳子

みなさんこんにちは、第一期生の吉野徳子です。私は横浜市にある救護施設「天神寮」で介護職員をしています。

救護施設は生活保護法から成っており、主に障害や病気で地域での生活困難な方が保護の対象になります。

うちでは入所者を「寮生」と呼んでいます。寮生の年齢は40才

80才と幅広く、約一割程オムツ対応しています。疾病は最も多いのが精神分裂病、アルコール中毒に伴う精神病、身体的障害です。発達遅滞の方も2割程います。この内容から分かるようにほとんどが精神障害者です。

私がここに就職して今年で丸三年を迎えますが、今だに対応の難しさに頭を抱えることが多いです。特に季節の変わり目には注意が必要です。軽はずみな言動が自傷行為を誘発しかねないからです。ま



大阪
塗木理恵

こんにちは。お元気ですか？第二期卒業生の塗木理恵です。

私は卒業後大阪にある関西福祉科学大学の社会福祉学部に入りました。在学中に学んだ、介護福祉士としての知識は、社会福祉士の勉強をしている今も大変役に立っています。

今年の三月には大学を卒業し、四月からは大阪府にある自主生活センターという所でソーシャルワーカーとして働きます。ここでは、介護人派遣の事業も行っているの

た在宅と施設での保護のギャップにも疑問が多いです。介護職員の仕事は主に生活指導と援助ですが、実際には老人ホームと変わらない部分が大半です。

話に聞いてしまうと大変そうですがとにかく楽しく、寮生に教えられる事がとても多く勉強になります。もし、皆さんも機会があれば救護施設を体験なさってください。違った独特の世界が体験できるはずですよ。いろいろな世界を見て、体験してください。(第一期生)

で介護福祉士の資格も役立ちそうです。

卒業して二年がたち、色々な側面から福祉を見て、在学中に先生方に言われた一言一言を少しずつではありますが理解できるようになりました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

また、同級生のみんなは元気ですか？是非同窓会なんかして会いたいですね。

そしてたくさん後輩の皆さん。学生の間に色々な事を疑問に思ってた皆さん質問するのいいと思います。頑張ってください。

それでは、この辺で... (第一期生)

先輩からの一言

母校訪問ノートより

……略……。私が小

牧市の老健に面接に行

った時、施設長が語っ

た欲しい人材を記して

おきます。

1 明るくて、人の和を大
切にする。

2 一つの物事をいろんな
角度で見ることができ
る。

3 向上心がある。(自分のステップア
ップ意識がある。)

4 責任感がある。(行動、言葉遣い)

まだあるけど、これは全部求めら
れる。どれか一つ欠けると、ちよっ
と……。就職活動がんばってね。ほ
な、さいなら。

(三期生 中途採用の者)

……略……。ところで、ボランティアに
来て活躍してくれるのはとても嬉し
いのですが、中には常識ハズレや無
責任な行動をする人がいて驚きま
す。当然そういう人は目立ってしま
い、時には「その人」というより
「その学校は」という見方になって
しまいます。そうなると「来年もあ
の学校に頼むのぉ?」という話も出
てきます。たつぶくがそんな学校に
ならないように。ボランティアをす
る時は、

1 ボランティア保険に入り

2 責任感を持って

3 常識ある行動で

4 始めと終わりにはきちんと全員
そろって挨拶をするよう心掛け
ましょう。

(三期生 豊美)

今日は仕事が終わってから暇だっ

たので、学校に来たでござ。仕事

たのしいけれど、かなり眠いっす。

昨日は仕事に遅刻して、婦長さんか

ら電話があつて超ブル。ポーナス

減つたつばい。みなさん遅刻には気

をつけてください。俺みたいな馬鹿

な人間にならないようにしてくださ

い。ではさいなら。最後に一言、入

所者最高。たつぶく最高。

(三期生 コバケン)

学校での実習は辛いことが多かつ

たけれど、学生の時に苦労した事は、

自分にとってプラスになってます。

仕事になると楽しく動けて、利用者

と深くかかわっていくと、利用者中

心に考えて働けます。就職はあせる

事はない!! 早めにじっくり自分の理

想をえがき、それに合う所だと働き

やすいです。自分を飾らず働けば辛

いことはなくなりませ。ガンバレ!!
自習は辛いけど、そのおかげで仕事

になると楽しくできる。学校では、

辛いことから逃げるな!!

(三期生 市川)

暑いですね。皆様方、くれぐれ

も夏バテだけにはご用心ですヨ。ダ

イエットとか言つて食わずにいたら

すぐに倒れちまいます。実習中に私

みたい倒れぬように。ちなみに、

私は仕事にも倒れたなあ、ハッハ

ッハッ……。それも多分五回以上さ。

すげーだろー、全く自慢にもなりま

せぬ。ただの自己管理が悪いだけ。

こんな介護福祉士にはならないよう

に心から願つております。

……後略…… (生)

四か月経つと仕事にも、人にも慣

れ、「慣れ」がでできます。

今思うと、実習の時の「コミュ

ニケーション」という時間の大切

さに気づき、そんな時間があつたこ

とをうらやましく思えます。…後略

…… (三期生 ジャハナ)

一年ぶりに学校にきました。四月

から新人職員が七人も入り、指導す

る立場になりました。体調管理をし

つかりすること。これが一番大切に

思えます。体調不良で欠勤が二人も

いるので、他の職員への負担はかな
り大きいです。入居者にも負担があ
るでしょう。入居者の声に耳を傾け
る仕事をする事。気をつけてます。

学校からお知らせ

(三期生 中島)

平成八年四月五日の開

校式から早いもので五年が

過ぎようとしています。平

成十三年六月二十四日には、

開校五周年記念式典を予定

しています。校歌もまも

なく完成します。作詞は大

岡信先生。作曲は柳慧先

生。初めての学校誌「福

祉地域」も現在創刊号を編

集中。五年間の歩みや本校

の福祉教育などについてま

とめています。発行の際は

ぜひご覧ください。四期

生もまもなく卒業。今年で

延べ三百二十四人の卒業生

を社会に送り出します。式

では在校生の弾き語りやハ

ンドベルの音が、卒業生の

心をやさしく包みこむでし

よう。介護福祉実習報告

集も完成しました。二年間

の大きな成長と学びの姿に
拍手を送ります。支えて
くださった後援会の皆様あ
りがとうございます。同
窓会の話も出ています。
卒業生の皆さんの会です。
ご協力ください。

たっぴく テイルム



○ 〓 戸田 3) 杉浦 3)

柴田 2) 西野 1)

客 〓 小林 3) 本田 4) 村 4)

浅井 4) 白井 4) 河辺 2)

木村 2) 乗松 2) 鈴木 2)

山本 2) () 内の数字は入学期

① 皆さんこんばんは、わが校の福祉文化活動は、園芸・陶芸・籐芸・レクスポ・演劇・茶道・音楽とありますが、これらはわが校にしかないことのようにです。ご存知でしたか？

② 皆さんは福祉文化活動で学んだことがどのように役立ち、またどんな思い出がありますか。

③ 園芸では竹本先生の人間学を聞きながら、自分で、育てたメロンを食べました。

④ うわー。ズルイ!! 私達のメロンは枯れちゃいましたよ。でも授業中の人間学のはなしを聞いている時は、さすがに人生経験豊かな方などという感じでいっぱいでした。

⑤ 演劇を習っていました、人とふれ合う職業なので役立っています。卒業後も地元の劇団でがんばっていますよ。今度観に来てください。

⑥ レクスポだと自分でやりたいたいのを、企画・ルール・設定して自分達に合わせてできたのが楽しかったし勉強になっています。

⑦ その他はどうでしたか？



① 同期の子に聞いたんだけど、施設に陶芸クラブがあって、先生が休んだ時にかわりに教えてるそうですね。

② うん。「先生」って呼ばれて恥ずかしいです(笑)

③ 籐芸では施設で新たにクラブを立ちあげたとか。

④ 就職した施設でやってみようと思っ。今も時々大原先生に施設に来ていただいて教えてもらっています。

⑤ 私は茶道を習って良かったと思っしたのは、掛軸や生けてある花の意味を一つひとつ教えてくださり、季節感を知ることができました。実習先のお年寄りとの野の草花のことはなしができました。茶道が自分の日常生活に役立ち、ものの方、考え方に当てはまることだと教えられ、すごく勉強になりました。卒業しても続けていきたいです。

⑥ 本年度から音楽も加わり福祉文化活動も7科目になりましたが、こんなことを、習いたかったと思うことがありますか。

⑦ 施設で壊れた椅子の修理なんてしよつちゅうだから、中学の時の技術家庭科っていうか、工作したり便利屋みたいなのがあったといいなあ。

⑧ そう。私も電球換えたり、日曜大工はよくやるよ。

⑨ 私、裁縫って苦手。ボタンつけくらいしかできない。(笑)

⑩ 私の作業所では月1回色遊びと音楽療法をやっています。それぞれ先生がいらしてくださいます。それが、私は絵が下手で何といわれるか人が気になって描けないんですよ。だから自分を表現する方法として絵画を習いたいですね。

⑪ 絵画、書道一緒にいいよね。



⑫ そう。芸術的なものいいですね。今年風まつりに参加して楽しかったから、凧作りもあつたらいいな。

⑬ 私達の時、凧サークルで、小凧を作って学園祭で飾りました。大凧は学校のマーク入りで残してありますよ。あの時皆で遅くまで飾りつけて楽しかったこと覚えてます。

⑭ 私達の学校は町立です。歴史ある田原で学んでいるのだから、町との関わりで文化も学べたらいいね。

⑮ なんか学びたいこといっぱいあるよね。(全員「そうそう」)

⑯ 介護の勉強は当たり前です。プ